

前線に伴う大雨よる現地調査 (杵島郡大町町畑ヶ田)

令和3年8月17日に国道34号46k400付近(大町町畑ヶ田地先)の町道法面に変状を確認。隣接するため池へ崩壊土砂が流入すると決壊するおそれがあり、国道34号を全面通行止めを実施。現地状況の詳細な把握及び国道への影響の検討のため、学識者による現地調査を実施した。

出席者:九州大学大学院 安福教授

● テックドクターによる調査

ため池貯水状況



町道法面のブロック積変状



会議状況



【町道法面、ため池への影響について】

- ・法面は今も動いているため、水処理をした後で押さえ盛り土など早急な対策が必要。
- ・今回は、限られた部分での地すべりと思われる。
- ・崩壊した土砂がため池に流入し、オーバーフローするほどの土量ではない。

【対策方法(応急)について】

- ・湧水が出ているので抜本的な水抜きが必要。
- ・法面の上部に亀裂があり、ブルーシート等で亀裂への止水対策を実施。